

ひがしの子

令和3年4月30日
岐阜市立岐阜東幼稚園
園長 藤井 佐由美

入園当初は、泣いていた子や不安そうな表情をしていた子にも、笑顔が見られる日が増えてきました。保護者の方が、「我が子のペースで、元気に笑顔いっぱい幼稚園で生活できる日が来る…」と、お子さんのことを信じ、ゆったり付き合ってくださいましたからだと思います。

明日からの大型連休で、“幼稚園に通う”というリズムを崩したり、気持ちが向かなかったりすることがあるかもしれません。連休明けも、幼稚園では子どもたちが、“楽しそう！”“おもしろそう！”と思える遊びや環境を準備して待っています。お子さんが登園を渋るようなことがあったとしても、保護者の方には、ゆったり構えていただき、お子さんが期待を膨らませて登園できるように、声をかけてくださるとよいと思います。保護者の方の心情を子供たちは敏感に感じています。どうぞ、お子さんの前では、笑顔でいてくださいね。

ご心配なことや不安なことは、何でもお話してください。担任をはじめ、園長、教頭、養護教諭にもお気軽に声をかけてくださいね。

こころの育ち

年長児がドッジボールをしているときのことで、2人の子どもがじゃれ合って、共に転んでしまいました。A児が、B児に覆いかぶさるように倒れたため、B児は、痛がっていました。A児は、共に倒れこんでびっくりしたのと、B児が痛がる様子に困惑して、顔を伏せて泣いてしまいました。

すると、周りの子ども達が、集まって来て、「どうしたの？」と聞いています。

私は、その場にいましたが、子ども達に任せてみることにしました。

どうやら、くっついていたら、二人で倒れてしまったらしいことが分かったと、C児が「渡邊先生のところに、行こう。」と言って、B児を連れて行きました。A児は、顔を伏せたままです。すると、D児が、覗き込むようにして、「お顔、見せて。」と話しかけました。E児は、「お話ししないと分からないよ。」と言います。それでも、A児が顔を伏せたままなので、F児が、「足が痛いのかな…」と言います。それを聞いて、D児は、「ここ（ひざを触って）が、痛いの？」と聞いています。

最後には、担任に抱き起こしてもらい、A児は気持ちを立て直すことができました。

ネガティブな感情を経験することは、子どもにとって大切なことです。周りの子ども達の声かけにより、少しずつ気持ちを立て直すことができた今回の経験は、当事者である子どもも、周りの子どもにとっても、こころの育ちにつながりました。

子どもながらの温かい気持ちとその言葉のかけ方に、私の方が学ばされました。

家庭訪問にご協力いただきまして、ありがとうございました。

家庭訪問では、お子さんのご家庭での様子や保護者の子育ての方針などをお聞かせくださり、ありがとうございました。

短い時間での訪問で、十分にはお話しを伺うことができなかつたかと思います。今後も、保護者の方から情報をいただきながら、日々の保育に生かしていきたいと思います。

予定の時間通りに訪問できなかつたり、訪問時間が延びてしまつたりするなど、ご迷惑をおかけしたことがあるかと思います。申し訳ありませんでした。

《5月の保育について》



【3歳児】

○先生と一緒にいろいろな場所や遊びに興味関心をもつ。

○幼稚園生活の仕方が少しずつ分かり、先生と一緒に身の回りのことをしようとする。

先生と一緒に行動したり、好きな遊びをしたりすることで、“おもしろい！”“たのしい！”という経験を十分に味わってほしいと思います。

自分の好きな遊びを繰り返し楽しんだり、年長・年中児の遊びの様子を見て、自分もやってみたいと思った遊びをしたりします。

この時期にこそ、水や砂、泥などに身体全体でかかわったり、感触を楽しんだりすることを十分にしていきたいと思います。毎日、多くの洗濯物を持ち帰ることになりますが、「いっぱい遊んできたんだね。」と認めてあげてください。よろしく願いいたします。

先生や友達と一緒に歌や手遊びを楽しんだり、給食を食べたりすることで、少しずつ、クラスのみんなど集う場面がわかって行動できるようになっていくことと思います。給食が始まると、本格的な幼稚園生活のリズムになります。幼稚園の生活の仕方を覚えたり、みんなと一緒に行動したりするということは、家庭での生活にはなかったやり方やルールに合わせることもなります。意欲的にできることとちょっと嫌なこと、やりたくないことがはっきりしてくる時期でもあります。

遊ぶことも生活することも、一人一人のペースに合わせてすすめていきます。

【4歳児】

○先生や友達と一緒に生活する中で、園生活の身に付けていく。いろいろな遊びに関心をもちしてみようとする。

○自分のやりたい遊びを見つけ、友達や先生と一緒に遊ぶ楽しさを感じる。

同じ場所で遊ぶことで、気になる友達や気の合う友達ができます。

遊びや生活の中で、自分の思いを自分なりに伝える姿も増えてきます。言葉が増えることで、思考力が高まり、自分なりに考える姿も少しずつ見られるようになります。

砂や水、泥、粘土など、いろいろな感触を楽しむ遊びや友達がしている遊び、先生が提案した遊びに関心をもって取り組めるようになってほしいと思います。

土や草花でのごちそう作りや虫探しなど、興味をもったことにじっくり取り組む姿も見られるようになります。

何かおもしろいことはないかと周りの様子を見て、積極的に入っていき子もいれば、戸惑う子もいます。人や環境への興味のもち方・かかわり方は、一人一人違います。教師が誘ったり、個別に援助したりすることを通して、教師との信頼関係をしっかり築いていきたいと思ひます。

【5歳児】

○年長児としての自覚をもち、自分たちの生活に楽しんで取り組む。

○友達と誘い合って、戸外で思い切り体を動かすことを楽しむ。



年少組のお世話や飼育当番などをするこゝで、「お兄さん・お姉さん」という気持ちか、これまで以上に強くなつていきます。意欲的に取り組み、自信を付けていってほしいと思ひます。

さらに、地域の人との交流を通して、やさしくしてもらつたり、教えてもらつたりする経験が、幼稚園での年下の子へのかかわり方に表れてくることと思ひます。

遊びの面では、鉄棒やうんてい、一輪車など、友達と教え合つたり、励まし合つたりして遊ぶ姿、砂場やサッカー、ドッジボールなど数人で集まつてする姿が見られるようになります。

遊びながら自分の思ひを伝えようとしますが、思ひが通らなかつたり、食い違つたりすることもあります。この時期の、思ひのぶつかり合いはとても大切な学びの場となります。しっかりと時間をかけて、教師が仲介しながら、互いの思ひや遊び方に気付いたり、知つたりすることができるよう援助していきたく思ひます。

そうした経験の積み重ねが、友達と話しながら一緒に遊びをすすめる姿、考えたり工夫したりする姿につながっていきます。



お茶タイムに「かんぱ〜い！」つてしているところ。なんて幸せそうなのでしょう。

片付けの時間になり、サッカーをしていた子どもたちが、「明日も、やろう。」とつて、『この指とまれ〜』をしているところ。
よほど楽しかつたんですね。



お知らせ・お願い

毎週、多くの通信を配布しております。お知らせやお願い、提出していただくものなどがたくさんありますので、よく読んでいただきますようお願いいたします。

☆5月10日(月)「PTA総会」について

中止とし、書面実施とさせていただきます。

後日配布される「PTA総会資料」をよくお読みください。

☆5月16日(日)「親子春見つけフェスティバル」について

中止とし、休日とさせていただきます。園内で、ウォークラリーをするなど、経験する機会を大切にしたいと思います。

5月17日(月)は、給食ありの通常保育となります。

☆5月17日(月) 夏服、麦わら帽子販売について

14:00~14:30 夏服と麦わら帽子販売を、遊戯室で行います。こあら組(麦わら帽子)と、なつめ組(夏服)をお買い求めください。

☆通信などの取り扱いについて

幼稚園から配布する通信には、園児の写真を掲載することがあります。そのままの形で家庭ごみや資源回収に出すことがないように、取り扱いには十分にご配慮ください。よろしくお願いいたします。

☆名札の着用について

登降園時や幼稚園に来園される時は、保護者用の名札を必ず着けてください。送迎の方が代わる場合も、お配りした「保護者用の名札」を、記名してお使いください。また、その旨担任までお知らせください。

☆登園時間について

8:40~9:00までに登園して下さることで、子どもたちもスムーズに遊び始めることができます。ご協力、ありがとうございます。引き続き、よろしくお願いいたします。

朝の環境準備や職員の打ち合わせの時間がありますので、8:40までは、親子でお待ちください。

☆ご協力ください。

子どもたちの遊びに使いますので、空き箱やカップなどを持ってきてください。ペットボトル、牛乳パック等はきれいに洗って、乾かしてからお持ちください。

☆西側の駐車場について

駐車される時には、できるだけ車間を寄せて、多くの方が駐車できるようにご配慮いただくとありがたいです。